7月20日から8月11日まで、日本体育協会日本スポーツ少年団の日独同時交流事業に参加しました。この交流は、国際経験豊かな指導者を育成するため、日本とドイツのスポーツ少年団のリーダーが互いに相手国を訪問し、スポーツ交流や視察研修などを通して交流するものです。日本派遣団は、全国のスポーツ少年団の高校生・大学生、団長などからなる約80人の大規模な団でした。

私たちのグループは、首都ベルリンから約250kmに位置するチューリンゲンとザクセンで、ゆとりのある生活やホストファミリーとの時間など、充実した日々を送りました。チューリンゲンではキース湖の水泳大会に行き、その夜には湖のほとりでテント泊。ほかにも、サマーリュージュの体験、州議事堂訪問などをしました。ザクセンでは、モーターボートのヨーロッパ選手権の見学や、プールでダイビングなど体験しました。

キース湖での記念撮影

スポーツ少年団がどうすれば地域に根付いた活動ができるかを考えるため、現地のスポーツ少年団とディスカッションを行いました。「私たちにできる社会貢献」をテーマに意見を交換し合いました。

ドイツのスポーツ少年団は、ボランティア活動に頻繁に参加しています。日本と比べて人数の多さも圧倒的です。社会貢献に対する考え方がドイツと日本ではまったく違い、スポーツ少年団が地域の重要な役割を果たしていることに驚きました。また、日本では少ない、子どもたちと指導者の中間の世代である中高生の層が、ドイツでは多くいます。地域に根付いた活動をするためには、その世代が中心となっていかなければならないことを再認識しました。

日本では中学から部活も始まり、少年団の活動を続けるのはむずかしいのですが、この世代ががんばらないと、という思いがあります。まずは、どうすれば団員が増えるかがこれからの課題です。

この交流で本当にたくさんのことを経験し、学びました。私のすばらしい経験は後輩へと伝えていき、ここで学んだことを自分の地域に合う形で取り入れていきたいです。

（河本早久良さん・井手）

今月の表紙

ごみを増やさないと署名した記念プレートを囲むごみ減量サポーターの皆さん

編集後記

■消火技術訓練大会に参加し、防火意識が高まった。早く家に住宅用火災警報器を設置しなければ。

■シュレッダーの紙くずも、堆肥作りに利用している今日このごろ。いろいろと試してるが、残りは肉や魚類が臭わず処理できたら最高だ！

■ソバの花の取材に出かけた。青く澄んだ空のもとで咲くソバの白い花を見ると、いつも、立石おじさんが語った「ソバの茎の根元が赤いのは、冷たい川に入ったからじゃ」という民話を思い出す。

桃のシロップ漬が当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』をよく読んで、次のクイズにお答えください。

Q1　2011そうじゃ吉備路マラソンの開催日は、来年2月○日

【応募方法】　はがきに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。全問正解者のなかから2人に桃のシロップ漬を贈ります。

【応募期限】　11月30日㈫

【9月号の答え】　①増やさない

【9月号の当選者】　守安静江さん（上林）、友野七海さん（岡谷）。〔応募者数14人〕

■応募先　〒719―1192　中央一丁目1番1号　総社市役所企画課

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

1 郷土を大切に
　美しい環境を まもりましょう。
1 生涯学び
　明るい家庭を きずきましょう。
1 たがいに助け合い
　あたたかいまちをつくりましょう。

市の花・木・鳥

◎市の花/れんげ
◎市の木/もみじ
◎市の鳥/タンチョウ

商店街通りに水戸岡デザインののれん

のれん、まち歩きを楽しむ

総社観光プロジェクト事業
デザインの統一化

総社観光プロジェクトが提案したデザインの統一化の第一弾として、デザイナーの水戸岡鋭治さんがデザインしたのれんを9月24日から、商店街通りにある堀家の軒に掛けています。

のれんは、地味で周囲の景色にとけ込みやすい茶色の地に、白で総社宮の紋や「総」をあしらったものを取り入れたものです。「軒下のれん」や「表のれん」、「日除けのれん」の3種類があり、これらを組み合わせ、同家の間口約20mに掛けられています。

市では、商店街通りに、こののれんを少しずつ増やしていき、まち歩きコースとして訪れた人たちに楽しんでもらおうと考えています。この日、まちかど郷土館で開かれたコンセプトデザイン発表会で水戸岡さんは、「商家の軒先をイメージしたものです。地域の文化を見つめ直し、みんなでいっしょにまちづくりをするきっかけにしてほしい」とコンセプトを説明。9月25日、26日の両日、同通りで開催された「れとろーど」では多くの人が見入っていました。

堀家の建物は、まちがど郷土館の向かいに位置。岡山県の洋画の祖といわれる堀和平の生家で、商家です。土地2170㎡と明治初期の建物約1400㎡を、平成13年10月29日に同家から市に寄贈され、れとろーどなどのイベントで活用しています。

水戸岡 鋭治
デザイナー
総社観光プロジェクト委員。九州新幹線や岡山電気軌道の路面電車に初めて導入された超低床電車『MOMO』のデザインなど数多くのデザインを手掛ける。岡山市北区出身